

教科・「科目」	工業・「製図」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別 等
		3	座学・実習	2	建築科必履修科目

1. 目標と評価規準

目標	製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。		
評価の観点と比重	評価規準		評価の方法
関心・意欲・態度 (25%程度)	製図に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。		学習状況 作業準備状況等
思考・判断・表現 (25%程度)	製図に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。		課題作品等
技能 (25%程度)	製図の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。		課題作品等
知識・理解 (25%程度)	製図の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。		課題作品等
使用教材等	建築設計製図(実教出版)		

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用	
1 学期	4	第4章 木構造の設計製図 木造住宅の設計製図	木造平屋建て住宅の設計製図 1年次の建築構造で学んだ知識を復習しながら、丁寧に模写させることで、使用場所と構造的な意味について定着させる。 ○立面図、断面図 ・作図上の留意事項 ・外壁、屋根、開口部など記入法 ・切断した切り口と外形の記入法 ・縮尺(1/100)に合わせた記入法	学習用パソコンに資料を提示	
	5				
	6				
	7				
2 学期	9		○基礎伏図、床伏図、軸組図 1年次の建築構造で学んだ知識を復習しながら、丁寧に模写させることで、使用場所と構造的な意味について定着させる。 ○小屋伏図、屋根伏図、天井伏図 寸法を読み取る力を付けさせる。また、他の図面との関連性を理解させる。 ○断面詳細図 同じ建築物に関する様々な図面から必要な寸法を読み取る力を付けさせる。		
	10				
	11				
	12				
3 学期	1				
	2				
	3				

備考	
----	--